

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	1	学校名	奈良商工高等学校
----	---	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) プロジェクト探究2年 (2) プロジェクト探究1年
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 総合的な探究の時間2単位として実施。 大テーマ「奈良の〇〇」のもとに、学年を13の小テーマ、32の班に分けて活動し、地元奈良について学習した。 (2) 総合的な探究の時間1単位として実施。 話す力、聞く力を中心に他者と協働する力を身につける事を目標とした。
連携・協働相手	奈良商工会議所青年部
地域と共有している目標・課題等	奈良商工会議所青年部(以下 青年部)と協働し、青年部が活動する奈良の未来を考えるイベントに対し、高校生としての意見や提言を行い、地元奈良への理解を深め、自分たちの問題として取り組む。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>(1) 奈良の観光地や地場産業を取材し、奈良について深く知ることができた。さらに奈良の観光ガイドマップを作成し、情報発信としてインスタグラムを制作した。県内のサステナブルな取組を調べ、その一環として食品ロス問題の校内啓発活動を行った。またNPOと連携し、文化祭でフードドライブに取り組んだ。各班の発表動画を青年部の方々に視聴してもらい、指導助言を受け、さらに深化することができた。</p> <p>(2) 決められたテーマについて自己の考えを発言し、他者の意見を尊重しながら協力して課題解決することを身につけた。また、青年部の方から奈良で働く意義や社会人としての心構えを聞き、自分たちの考えや意見を伝えることができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>(1) 地元奈良への理解が深まり、興味関心をもつことができた。青年部からの意見や提言で、地域社会の人たちと協働することの大切さを学んだ。</p> <p>(2) 発言力や傾聴力を身につけ、他者と協力して課題を解決することを学ぶことができた。来年度は3年生の商工連携課題研究へと繋がるようにしたい。また、地元自治会の人たちとも協働し、地元に着した活動を目指したい。</p>

